

化学肥料低減計画書(秋用肥料・春用肥料)

氏名(法人・組織名)

■取組実施者記入欄

住 所

電話番号

複数の取組実施者への申請 有 無

◇作付概要

作物名	作付面積(ha) (A)	認証※1	認証面積(ha) (B)
合 計※2		/	

- ※1 以下のいずれかの認証等を取得している場合は、認証欄に「○」を記載いただき、認証面積(実施面積)を記載願います。
- ・ぎふクリーン農業(農産物)
  - ・有機JAS認証(農産物)
  - ・環境保全型農業直接支払交付金
  - ・特別栽培農作物
- ※2 認証面積(B)の合計が、作付面積(A)の合計の半数を超える場合は、裏面「取組メニュー」の記入を省略できます。
- ※3 記載を省略する場合は、認証を取得している(取り組んでいる)ことを証明する書類(登録証の写し等)を提出願います。

私は、添付した領収書(請求書)等記載の肥料(肥料費)について以下のとおり、確約します。

令和4年秋肥又は令和5年春肥として確実に購入し、自らの農業生産に使用します。

※チェック欄に○を記入した上で署名してください。

氏名(自署)

※ 当年の肥料費は、秋用肥料については令和4年6月～10月、春用肥料については令和4年11月～令和5年5月に発注したことを証明する書類(注文票等)と、参加農業者が肥料費を支払ったことを証明する書類(領収書等)または支払い義務が生じていることを示す書類(請求書等)を別紙様式で整理の上、提出すること。  
 なお、肥料の種類、数量、購入費が記載されているものに限る。

◇化学肥料低減に向けた取組メニューの選択



裏面の記載をお願いします

【取組メニューの選択】

1. 実施する（してきた）取組メニューに「○」を付してください。  
 2. 「令和4年度又は令和5年度の取組」には、実施する取組メニューが2つ以上必要です。そのうち1つ以上は、新しい取組、従来の取組の強化・拡大（「◎」で記入）を含むようにしてください。  
 3. 作物面積の合計の半分以上を占める作物があれば、その作物で取組を実施ください。ない場合は、合計で作物面積の半分以上を超えるよう、2品目以上で取組を実施ください。

取組メニュー	前年度までの取組	令和4年度又は令和5年度の取組
ア 土壌診断による施肥設計		
イ 生育診断による施肥設計		
ウ 地域の低投入型の施肥設計の導入		
エ 堆肥の利用		
オ 汚泥肥料の利用(下水汚泥等)		
カ 食品残渣など国内資源の利用(エとオ以外)		
キ 有機質肥料(指定混合肥料等を含む)の利用		
ク 緑肥作物の利用		
ケ 肥料施用量の少ない品種の利用		
コ 低成分肥料(単肥配合を含む)の利用		
サ 可変施肥機の利用 (ドローンの活用等も含む)		
シ 局所施肥の利用 (側条施肥、うね立て同時施肥、灌注施肥等)		
ス 育苗箱(ポット苗)施肥の利用		
セ 化学肥料の使用量及びコスト節減の観点からの施肥量・肥料銘柄の見直し (ア～スに係るものを除く)		
ソ 地域特認技術の利用 ( )		

※1 取組を実施したことが確認できる書類等の証拠書類(購入記録、低減計画の取組にかかる作業日報、写真等)について、支援金の交付を受けた年度の翌年度から5年間保管すること。